第11号様式　　　　　　　　　　　　　　（表）

年　　月　　日

（宛先）名古屋市長

申請者 (団 体)

所在地　　○区○○町○丁目○○

名　称　　LOVE♡MY TOWNまちづくり会

(代表者)

役　職　　代表

氏　名　　地まち Ｎ子

地域まちづくり活動助成申請書

当団体の地域まちづくり活動について、名古屋市地域まちづくりサポート制度要綱による地域まちづくり活動助成を受けたいので、同要綱第22条第2項の規定により下記のとおり申請します。

記

1　申請する活動助成の種類　（該当の□に✔をつけてください。）

▶申請する助成メニューを選んでください。  
助成メニューの内容は募集要項参照。

□ 初期活動助成　　　□ 構想づくり活動助成

□ 実践活動助成　　　□ 組織基盤強化助成

2　助成の対象として予定する活動

▶助成金を活用して実施する予定の活動について、活動項目を箇条書きで記入してください。  
活動内容の詳細は活動計画書で記入します。

・◎◎◎◎

・◇◇◇◇

3　助成金交付申請額

▶申請する助成金額を記入してください。助成メニューごとに決め  
られた上限額を超えない金額にて申請してください。

　　　金　　　　　円

4　申請する理由

▶助成金を受けようとする理由を記入してください。  
特に、「団体として、助成金をいかに有益に活用できるか、助成金をどのように効果的なものとするか」などの観点について説明をしてください。

（裏）

▶団体の令和２年度の年間収支予定を記入してください。  
助成金は申請額と同額で含めてください。助成対象以外の収支についても簡潔にご記入ください。

5　団体の収入支出予算

　　収入

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 予算額（円） | 内訳 |
| 会費  助成金  ○○ | ○○  ○○  ○○ | ○円×会員○名  地域まちづくり活動助成 |
| 計 | ○○ |  |

　　支出

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 予算額（円） | 内訳 |
| ◎◎◎◎  ◇◇◇◇  ××××  ▲▲▲▲ | ○○  ○○  ○○  ○○ | 活動助成対象活動  活動助成対象活動 |
| 計 | ○○ |  |

6　助成を受けようとする活動費用の内訳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 内訳 | 金額（円） |
| ◎◎◎◎ | ○○費  ○○費 | ○○  ○○ |
| ◇◇◇◇ | ○○費  ○○費 | ○○  ○○ |
| 合計 | | ○○ |

▶団体の令和２年度の年間支出のうち、助成対象活動分を抜粋して記入してください。  
活動の項目(事業)ごとに必要となる費用内訳を記入してください。活動の項目は、表面｢2助成の  
対象として予定する活動｣と合わせてください。

▶「業務一式」などが内訳に含まれる場合は、見積などの内容を示す資料を添付してください。

申請があった活動助成を受けようとする団体に属する者が名古屋市地域まちづくりサポート制度要綱第2条第2号の規定に該当する者であるときは、地域まちづくり活動助成を行いません。また、助成決定後にその旨が判明したときは、助成決定を取り消します。

　上記事由を確認する必要がある場合には、申請書に記載されている情報を愛知県警察本部に照会することがあります。

備考　用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

第1-2号様式（構想づくり活動助成・実践活動助成用）

**活動計画書 ／ 活動実施計画書**

団体名：

▲活動計画書に○をつけて下さい。

1 助成を受けようとする活動内容

▲団体名を記入してください。

|  |
| --- |
| ▶助成を受けようとする活動内容を具体的に記入してください。  　申請書に記入された活動の項目ごとの内容がわかるように記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　必要性の視点 |

2 上記活動の目的

|  |
| --- |
| ▶助成を受けようとする活動を実施する目的を具体的に記入してください。 活動計画書｢4 活動地域の特性、現況、課題｣を踏まえて記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　必要性の視点 |

3 市街地の形成・維持・改善および活用へのつながり

|  |
| --- |
| ▶今回助成を受けようとする活動が、 自発的・自立的な市街地の形成・維持・改善および活用にどのようにつながるのかを記入してください。    また、今回助成を受けようとする活動が直接的に市街地の形成・維持・改善および活用につながらない場合は、将来的にどのようにつながるかを記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　適合性の視点 |

4 活動による成果目標

|  |
| --- |
| ▶助成を受けようとする活動の実施による今年度末時点での成果目標を記入してください。 数量などで示せる目標設定を含めてください。 活動計画書｢7(構想策定・実践目的達成)までの想定プロセス｣や ｢8(構想策定・実践目的達成)以後の展望｣につながるような目標設定に心がけてください。  【この欄に対応する主な評価視点】　発展性の視点 |

5 活動地域の特性、現況、課題

|  |
| --- |
| ▶活動地域の特性や現状、および課題認識を記入してください。  地域の特徴のほか、どんなことがどのように課題なのか、なぜ課題となっているのか、などが分かるよう具体的に記入してください。 また、活動計画書｢1 助成を受けようとする活動内容｣｢2 上記活動の目的｣との整合が取れるよう記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　必要性の視点 |

6 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

|  |
| --- |
| ▶これまでに団体が取り組んできた活動等の実績を記入してください。 また、過去に地域まちづくり助成制度を活用したことがある場合は、 その内容も含めて記入してください。  今年度の助成対象活動へのつながりが分かるように記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　メニュー別の視点 |

7 活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

|  |
| --- |
| ▶活動を行うために必要な協力･調整の相手方とその理由を記入してください。  また、現在の協力･調整の状況や、どのように協力体制を築いていくかなども あわせて記入してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　実現性の視点 |

8 （構想策定・実践目的達成）までの想定プロセス

|  |
| --- |
| 【構想づくり活動助成】  ▶構想の策定までのプロセスをどのように想定しているかを記入してください。 今年度の活動に限らず、構想を策定するまでにどのようなステップが必要と考えているかを整理してください。  【実践活動助成】  ▶実践の目的達成までのプロセスをどのように想定しているかを実践の目的とあわせて記入してください。今年度の活動に限らず、実践目的の達成までにどのようなステップが必要と考えているかを整理してください。  【この欄に対応する主な評価視点】　発展性の視点 |

9 （構想策定・実践目的達成）以後の展望

|  |
| --- |
| 【構想づくり活動助成】  ▶構想策定後の展望を記入してください。 構想を策定した後、その策定した構想をどのように活用するのか、など。  【実践活動助成】  ▶今回の実践目的を達成した後の展望を記入してください。 実践目的達成後、その成果がどのように次の実践等に活かされるのか、など。  【この欄に対応する主な評価視点】　発展性の視点 |

10 活動内容のスケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 年月 | 活動内容 |
| H31年　○月  ○月  ○月  ※各記入欄において、【この欄に対応する主な評価視点】を参考に示しておりますが、 助成メニューの視点など、全体を通して評価を行う視点もあります。 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・  ・・・・・・・・・・・・・・・・・  ・・・・・・・・・・・・・・・・・  ・・・・・・・・・・・・・・・・・  ▶今年度の助成対象活動に関するスケジュールを記入してください。    【この欄に対応する主な評価視点】  　実現性の視点 |

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。